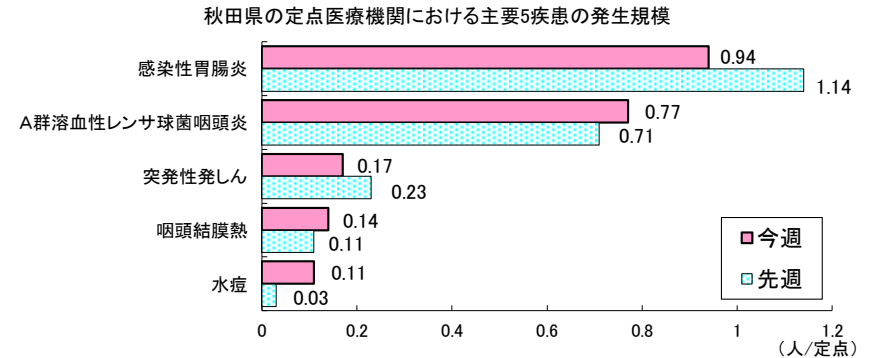




【第23週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で18%減少しています。保健所別では、北秋田、能代、秋田中央、横手で増加、秋田市、大館、大仙、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、大館で増加、北秋田、秋田中央、由利本荘、大仙、湯沢で同規模、秋田市で減少しています。
3. 突発性発しんは、県全体で26%減少しています。保健所別では、大館、大仙で増加、北秋田、能代で同規模、秋田市、秋田中央、横手、湯沢で減少しています。



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減
RSウイルス感染症																														
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.11	0.14	↗	0.14	0.29	↗	0.50	0.25	↘												0.50	↗				0.25	↘			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.71	0.77	↗	1.00	0.71	↘		1.00	↗	0.50	0.50				0.75	0.75		0.25	0.25		2.00	2.00				1.25	1.25			
感染性胃腸炎	1.14	0.94	↘	2.57	1.86	↘	2.25	0.50	↘		0.50	↗	0.33	2.00	↗	1.50	1.75	↗			0.50		↘		0.33	↗	1.00	0.75	↘	
水痘	0.03	0.11	↗													0.25	↗	0.25	0.25								0.50	↗		
手足口病	0.06	0.06																							0.33	↗				
伝染性紅斑	0.06	0.06						0.25	↗					0.33	↗						0.50		↘							
突発性発しん	0.23	0.17	↘	0.29	0.14	↘	0.25	0.50	↗	0.50	0.50		0.33	0.33		0.25		↘				0.25	↗	0.33		↘	0.25		↘	
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎	0.03	0.06	↗		0.14	↗	0.25	0.25																						
川崎病		0.03	↗																							0.25	↗			
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎															*	*														
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎															*	*														
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎 (ロタウイルスによるもの)															*	*														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が能代保健所管内から1人、横手保健所管内から2人、報告されました。
- ・四類感染症のつつが虫病が大館保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の劇症型溶血性レンサ球菌感染症が秋田市保健所管内から1人、梅毒が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-22週		23週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	6875	32	3
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	51		
四類	腸管出血性大腸菌感染症	439	9	
	腸チフス	16		
	パラチフス	7		
	E型肝炎	217	1	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	63		
	エキノコックス症	7		
	黄熱			
	オウム病	4		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	ギャサナル森林病			
	Q熱			
狂犬病	1			
コクシジオイデス症	2			
サル痘				
ジカウイルス感染症	1			
重症熱性血小板減少症候群	20			
腎症候性出血熱				
西部ウマ脳炎				
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	1週-22週		23週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つつが虫病	80	3	1
	デング熱	40		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	55		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症			
	マラリア	12		
	野兔病			
	ライム病	2		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	538	5	
レプトスピラ症	1			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	246		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	109	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	619	3	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	13		
	急性脳炎	283	4	
	クリプトスポリジウム症	2		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	55	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	346	2	1
	後天性免疫不全症候群	404	1	
	ジアルジア症	13		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	159		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	11		
	侵襲性肺炎球菌感染症	920	8	
	水痘(入院例に限る)	151	5	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	2269	22	1
	播種性クリプトコックス症	49	1	
破傷風	43	1		
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	52			
百日咳	2449	9		
風しん	76			
麻しん	12			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	3			
指定	新型コロナウイルス感染症	17017	16	

トピック

<腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう>

秋田県内では、第23週までに9人の腸管出血性大腸菌感染症が報告されています。腸管出血性大腸菌感染症は、例年、気温が高くなり始める初夏から報告数が増加します(図)。これから多発する時期を迎えますので、十分な注意が必要です。

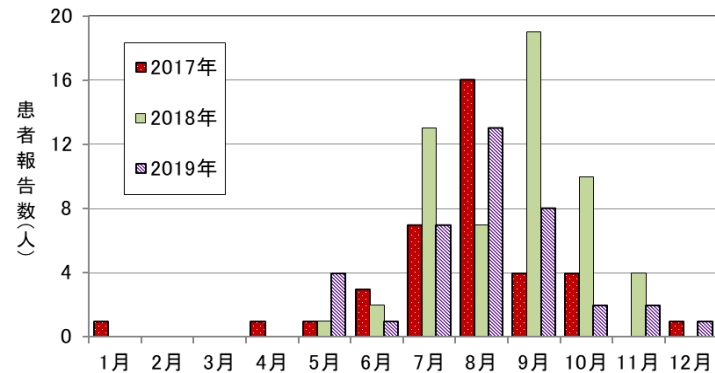
■腸管出血性大腸菌とは

腸管出血性大腸菌は、ペロ毒素と呼ばれる毒素を出す大腸菌です。感染すると3~5日の潜伏期間の後、激しい腹痛と水のような下痢を起こします。続いて、出血性大腸炎により鮮血の混じった下痢(血便)を起こすことがあるのが特徴です。腎不全を伴う溶血性尿毒症候群や脳症といった重い合併症を併発する場合があります。特に、子供や高齢者は重症化のリスクが高いとされています。

■予防のポイント

- ・トイレの後、動物に触れた後、食品を取り扱う際は、石けんを使ってよく手を洗きましょう。
- ・調理器具はよく洗い、生肉を扱う箸などは他の食材で使用すると区別し、使用した後に他の食材に触れないようにしましょう。
- ・野菜や果物を生で食べる場合は流水でよく洗い、食肉等は十分な加熱をしましょう。また、調理後は早めに食べるようにしましょう。

※ 腹痛、下痢、おう吐、血便などの症状があったときは、早めに医師の診察を受けてください。自己判断で市販の下痢止めを服用し、重症化した例もあります。



つつが虫病情報

つつが虫の発生報告が1件ありました。

事例No.	届出日	住所	年齢	性別	症状	感染経路(推定)
4	6/2	大館保健所管内	80代	女性	頭痛、発熱、リンパ節腫脹、刺し口(右膝裏)	山菜採り



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		